

巻 頭 言

弘前医療福祉大学

学長 下 田 肇

本学紀要第5巻第1号の発刊に際し、先生方の研究成果についてその努力に心より敬意を表します。

本年は、1月1日の能登半島地震、1月2日の羽田空港飛行機事故と不幸な出発になりましたが、3月には能登半島地震については復興が進み、災害関連死などがないように生活環境が改善されていることを切に願っております。

さて本年は急速なデジタル化や不安定な国際情勢など、将来予測困難な時代になりました。未知の課題に柔軟に向き合う力が何よりも求められており、その点からこれからの日本の在り方を考えますと、「医療と防災」、「教育・文化」、「食と農」の3本柱が重要課題となると言われています。

一方で最近の政治とカネの問題で日本の政治－政治家の資質が問われており、その自堕落さ－品位のなさが指摘されています。

これからの日本は国民全員参加が可能な政治と国民の安全・安心のためレジリエンスの強い先述の3本柱を重視した政策を確立したいものだと考えます。

そして、非核平和と民主主義に徹した日本でこれからもありたいと思います。

巻頭言としては少し話しが飛躍して口はばったく似つかわしくないとは思いますが、先生方の少しでも参考になればと思って述べました。

先生方のこれからの研究等が充実し、本学紀要がますます発展することを心より祈念申し上げます。